

# 令和5年 第6回総務経済常任委員会会議録

令和5年 4月13日 議員控室

## ○事 件

所管課報告事項

- (1) 日本クリーンファーム（株）八雲桜野肥育農場（仮称）の新築について  
(農林課)

協議事項

- (1) 鉄道・運輸機構との勉強会について
- (2) 常任委員会の視察調査について

## ○出席委員（8名）

委員長	安 藤 辰 行 君	副委員長	牧 野 仁 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	関 口 正 博 君		宮 本 雅 晴 君
	倉 地 清 子 君		三 澤 公 雄 君

## ○欠席委員（0名）

## ○出席委員外議員（3名）

議長	千 葉 隆 君		赤 井 睦 美 君
	佐 藤 智 子 君		

## ○出席説明員（3名）

農林課長	石 坂 浩太郎 君	農林課長補佐	上 野 誠 君
農業振興係長	高 嶋 一 登 君		

## ○出席事務局職員

事務局長	三 澤 聡 君	事務局次長	成 田 真 介 君
------	---------	-------	-----------

[開会 午前10時00分]

## ◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（安藤辰行君） 総務経済常任委員会を開催したいと思います。挨拶は割愛させていただきます。早速、報告事項に入らせていただきます。

## ◎ 所管課報告事項

### 【農林課職員入室】

○委員長（安藤辰行君） 農林課お願いします。

○農林課長（石坂浩太郎君） 委員長、農林課長。

○委員長（安藤辰行君） 農林課長。

○農林課長（石坂浩太郎君） 最初に、4月1日付けで人事異動がございましたので、課長補佐が異動になっておりますので自己紹介をお願いします。

### （異動職員自己紹介）

○農林課長（石坂浩太郎君） それでは、日本クリーンファーム(株)八雲桜野肥育農場(仮称)の新築について、ご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに、1 経過・概要につきまして、日本クリーンファーム(株)は、本年4月にインターファーム(株)から社名を変更した会社で、ニッポンハムグループの養豚食肉生産事業会社として、現在、八雲町内の6農場を含め、北海道・東北・九州地区の自社農場と預託農場で安心・安全な豚肉を供給しております。

事業開始から40年が経過し、既存の農場の老朽化対策、防疫体制の強化、省人化対策を含めた事業所合理化と生産規模の拡大、アニマルウェルフェアへ向けた飼養管理の確立を目的として、新たな大規模肥育農場の建設を八雲町内に計画し、候補地を模索していた中で、町に対して農場建設の条件に合致した町有地の購入についての打診があり、双方で協議を進めてきたところでございます。

新規農場の候補地は、桜野地区の旧桜野牧場跡地の町有地で、広大な敷地面積や衛生・家畜防疫管理や、近隣住民の生活に支障を及ぼさない等、農場候補地の条件に合致した土地であるとともに、今年度開業予定の日本フードパッカー(株)道南工場と合わせた生産体制の強化や、輸入食肉等に対して十分な競争力を有する農場を作り上げる必要があります。地域経済の活性化や雇用の創出が期待できることから、当該町有地を売却しようとするものでございます。

2の計画地の概要につきましては、1枚めくっていただき、最終ページに位置図、拡大図を添付しておりますが、所在地は、旧桜野牧場の跡地の一部で、八雲町桜野193番地ほか10筆、面積は27万5,434㎡、現況は、農地、宅地等となっております。なお、今後、クリーンファームにおいて、用地測量を行いますので、測量の結果で面積等は変動する可能性があります。また、計画地には、岡山県所有の旧桜野牧場事務所が建っている土地、約3,800㎡ありますが、現時点では計画書には含まれてございますが、この事務所については、補助事業における処分年限が、令和8年9月までとなっておりますので、処分年限終了後に土

地を売却する予定でございます。また、土地の売却金額については、現在、算定協議中でございます。測量により面積が確定後に決定することとしてございます。

3の事業計画につきまして、(1)施設整備内容については、・育成肥育舎22棟、出荷パドック棟1棟、ふん尿処理施設1棟、脱臭棟2棟、製品置場2棟となっております。(2)飼養管理計画として、飼養形態は、生後28日～170日令の肥育豚で、飼養頭数は、約4万頭、ふん尿処理については、ふんの処理は、コンポスト処理により堆肥化し、肥料製造、尿は、ばっ気・嫌気処理後、浄化处理し、河川放流することとなっております。(3)建設・生産スケジュール(予定)として、①の建設計画としては、本年4月から6月にかけて用地測量、7月から12月にかけて農業振興地域の変更、農地転用手続きを行い、7月から9月の間で町有地売却の手続き、令和6年4月から9月にかけて用地造成工事、10月に建築工事開始し、令和8年3月に竣工し、4月から6月にかけて外溝・附帯工事を実施する予定となっております。②生産計画は、令和7年10月から12月にかけて、母豚候補を導入し、令和8年4月から6月にかけて交配開始、7月から9月にかけて分娩開始、令和9年1月から3月にかけて出荷を開始する予定となっております。

以上、説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長(安藤辰行君) ただいま報告いただきましたが、質問ございませんか。

○委員(横田喜世志君) はい。

○委員長(安藤辰行君) 横田さん。

○委員(横田喜世志君) 先程、岡山県の事務所の件ですが、8年か、●●という中に、この図面でいくと上の四角、牛舎の分も含まれていますか。

○農林課長(石坂浩太郎君) 委員長、農林課長。

○委員長(安藤辰行君) 農林課長

○農林課長(石坂浩太郎君) 上の囲まれている部分、旧牛舎が建っている場所ですが、ここについては総合電源がないため、日本クリーンファームにおいて解体する予定でございます。

○委員(横田喜世志君) はい。

○委員長(安藤辰行君) 横田さん。

○委員(横田喜世志君) その牛舎のあった土地なんですが、解体するのはクリーンファームでやってくれるということですが、埋設物があるんですけど、その認識はありますか。

○農林課長(石坂浩太郎君) 委員長、農林課長。

○委員長(安藤辰行君) 農林課長。

○農林課長(石坂浩太郎君) 埋設物があることは認識していませんでした。

○委員(横田喜世志君) たとえば、クリーンファームさんが何を建設するかにもよりますが、掘り起こしたときに、そういうものが出てきたときの対処だとかというのが問題になってくると思うんだけど、そこら辺を把握しておかないと対処のしようがないんじゃないかなと思うんだけど、その辺は考えていくつもりですか。

○農林課長(石坂浩太郎君) 委員長、農林課長。

○委員長（安藤辰行君） 農林課長。

○農林課長（石坂浩太郎君） 埋設物の状況については旧所有者である岡山県のほうに確認させていただいて、今後の対応について農林課も含めて検討していくつもりです。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（安藤辰行君） 関口さん。

○委員（関口正博君） ちょっと教えてください。根本的に、牛と豚ではふん尿処理の仕方は違うんですか。牛であれば「バイオマス発電」という考え方になるんだけど、養豚の場合は完全に浄化施設のみ。牛と豚は違うんでしょうか。

○委員（三澤公雄君） 多分、送電コスト。線を引っ張ってやるようにと北電に言われた時のコストを考えたんじゃないかなと思います。わかりませんが。

○農業振興係長（高嶋一登君） 委員長、農業振興係長。

○委員長（安藤辰行君） 係長。

○農業振興係長（高嶋一登君） 豚の場合は、エネルギーというものが牛よりも足りなくて、バイオマス発電をする場合は、エネルギーが足りなくて、なかなか発電まではいかないのかなというような状況になっております。牛の場合はエネルギーが非常にありますので、十分バイオマス発電するには問題がないエネルギーになっておりますので、よろしくお願います。

○委員（三澤公雄君） 豚の糞は肥料成分が強い。窒素の多いイメージを僕らは持つるのでエネルギーもあるのかと思ったら、考えてみたらエネルギーってガスだから炭素が多くないと、ということでいけば、牛は繊維質を取っているんで、ガスになる元の、炭素の部分があるのかなと、今の説明を聞いて思った。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（安藤辰行君） 関口さん。

○委員（関口正博君） 三澤さんは今回の設備も含めて八雲町内に相当の豚舎持つてるけど、何かしらの発電事業をやったら、その技術が確立されたら、ものすごく発電量がありそうな気がするんですけどね。

○委員（三澤公雄君） 発電には向かないけど他の豚舎は、ばっ気したやつを肥料として、今、酪農家も有効に使ってるんだよね。草地に撒いてもらって。ばっ気して臭いを落として、さっきも言ったように肥料成分が多い。窒素。だから、牛の堆肥を畑の遠くまで持っていくのは大変だから。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） はい。

○委員長（安藤辰行君） 三澤さん。

○委員（三澤公雄君） 河川放流という浄化処理をしてね、これのチェックというのは、今の日ハムの工場のところは川に流しているというのは聞いてるけど、住宅地も多いから監視の目もあるんだけど、これは山奥。そういうチェックというのは関係機関でやるものなんだろうか。

○農林課長（石坂浩太郎君） 委員長、農林課長、

○委員長（安藤辰行君） 農林課長。

○農林課長（石坂浩太郎君） この河川放流については今、町内6ヶ所、農場があるんですけど、東雲工場に関しては今も河川放流しているので、同じような体制で実施しているんだと思います。農水省が定めている河川放流、排水基準よりも、クリーンファームとしては厳しい基準を設定した中で排水をしまして、この排水に関しては、漁業協同組合と協定を結んだ中で取り進めることとしてございます。また、今回、河川放流するのが野田生川になりますので、八雲町漁協と落部漁協の二つの漁協に関係してまいります。環境●●をやる中で進めて行くこととしてございます。

○委員（大久保健一君） はい。

○委員長（安藤辰行君） 大久保さん。

○委員（大久保健一君） これだけの規模の農場ってどれぐらいの人が就業する価値あるの。

○農林課長（石坂浩太郎君） 委員長、農林課長。

○委員長（安藤辰行君） 農林課長。

○農林課長（石坂浩太郎君） 今回の●●については、省人化ということも目的として整備するということなので、省人化した中でも従業員数は、30人程度の従業員になるのではないかと聞いております。この雇用に関しては、今いる方々の集約化と、新たな雇用もあるということで、合わせて30名程度のということで聞いております。

○委員長（安藤辰行君） 他にありませんか。ないようですので、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。

○委員（三澤公雄君） ちょっと一点、小さいことだけど。これまでインターファームさんというイメージがあったんだけど、これからは全体がクリーンファームになるの。それとも、ここだけがクリーンファームになるの。

○農林課長（石坂浩太郎君） 委員長、農林課長。

○委員長（安藤辰行君） 農林課長。

○農林課長（石坂浩太郎君） 4月に社名変更がありまして全てクリーンファームという名前に変更したということです。

○委員長（安藤辰行君） はい。これで終わります。

## ◎ 協議事項

○委員長（安藤辰行君） それでは、の協議事項に入ります。一つ目ですけど、鉄道・運輸機構との勉強会について、事務局お願いいたします。

○事務局次長（成田真介君） 総務経済常任委員会と鉄道・運輸機構との勉強会なんですけど、今現在、日程を調整中でございます。勉強会のテーマといたしますか、疑問点なんですけど、これを整理したいと考えております。前回、前々回の委員会の中で、疑問点ということで資料に載せております。この点についてはすでに機構のほうにも伝えております。この項目のほかに何か付け加えるだとか、そういったことで、勉強会のテーマということで整理をしたいと思いますので、ご協議のほど、よろしく申し上げます。

○委員長（安藤辰行君） 今、報告がありましたけれども、書かれてある三つの項目以外にありましたら、挙げてほしいと思います。

○委員（三澤公雄君） はい。

○委員長（安藤辰行君） 三澤さん。

○委員（三澤公雄君） 以外、じゃないのかなと思うんだけど、含まれるかどうかをちょっと皆さんにと聞いてもらおうと。二つ目のポチで、搬入する予定である黒岩C地区の備えについてと書かれてますけど、備えというんだから、あの場所の、準備してるのかどうか、話の中心になるとは思っていたんです。でも今回、僕、一般質問で断層のことをお話ししたんですけど、黒岩C地区は特に活断層の発表されている地図と重なってるんですね。そういったことも備えという部分には入るのかなと、今は思っているんだけど、でもあらかじめ伝えた方がいいと思うのであれば伝え方がいいのかなと。皆さんはどう考えているのかな

○委員長（安藤辰行君） どうですかね。今の三澤さんの意見を事前に伝えたほうが。

○委員（三澤公雄君） そんな頻繁に会える人達でもない。

○委員長（安藤辰行君） 答えやすいと思う。それはまず伝えておくということで。

○委員（三澤公雄君） お願いします。

○委員長（安藤辰行君） 他に。大体この3つぐらいで。

○委員（三澤公雄君） そうですね、村山地区の議事録から発生することは、この3点でいいと思う。

○委員長（安藤辰行君） あと、日程だけ。

○事務局次長（成田真介君） はい。ではこのようなかたちでテーマとしてまとめたいと思います。日程のほうは今、現在調整中で、おそらく5月以降になるのかなというふうに思います。

○委員（三澤公雄君） 5月以降ということ。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） 5月には搬入開始っていうのが確かあったので、できれば搬入前に、ある程度議論して、向こうだって、もう始まってますからって言うよりも、始まる前に言われたほうがいい部分もあると思う。

（何か言う声あり）

○事務局次長（成田真介君） 機構の都合もありますけども、なるべく。

○委員長（安藤辰行君） できればなるべく搬入前に日程をとってもらってということをお願いします。他にありませんか。では、これですらいいと思いますので、次の2番目の視察調査について。

○事務局次長（成田真介君） 委員長、事務局次長。

○委員長（安藤辰行君） 次長。

○事務局次長（成田真介君） 常任委員会の視察調査なんですけど、今年度は総務経済常任委員会の視察調査の年であります。コロナのほうも落ち着いてきていることから、今年は4年ぶりに視察調査を実施できるものというふうに考えております。時期については9月定例会をもって委員会の前期が終了することから、7月か遅くとも8月ぐらいまでには実施すべきかなと考えます。今年度は道内の視察調査ということですので、町のバスを使って1泊2日で行ける範囲というような調査になります。本日はその調査の内容、目的、テーマ、または視察先について皆様から意見をいただいて、その意見を踏まえて今後の視察先を決めていきたいと考えております。また、決める方法についても併せてご協議をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

○委員長（安藤辰行君） どうですかね。去年サーモン行ってきたんだよね。

(何か言う声あり)

○委員(倉地清子君) ちょっと私まだ勉強不足ですけど、ゴミ処理場なんか、北海道のどこかでありますよね。

(何か言う声あり)

○委員(三澤公雄君) 分別と堆肥化で、富良野は有名だけどね、新しくはない。

(何か言う声あり)

○委員(倉地清子君) おむつの処理とか。

○委員外議員(赤井睦美君) 北海道は富良野です。

(何か言う声あり)

○議長(千葉 隆君) やっぱり、今やろうとしていることだとかを見たほうが。

(何か言う声あり)

○議長(千葉 隆君) ワインやりたいとか、何やりたいとか。

○委員(大久保健一君) ワイナリーなら余市とか。

(何か言う声あり)

○議長(千葉隆君) 今ここで新規でやろうとしてるのはワインと、ウィスキー。

(何か言う声あり)

○委員(大久保健一君) ワイナリーがいいな。

(何か言う声あり)

○委員(三澤公雄君) ワイナリーめぐりを1つ入れておいて、あと、沿線で寄れるところでちょっと。

(何か言う声あり)

○委員(大久保健一君) だけど、町長が大して金かけないっていうんだから、どちらかというと小規模なワイナリー。

(何か言う声あり)

○議長(千葉 隆君) こないだ大野と斜面のところと、当別の斜面のところを見たけれども、見晴らしのいいところ。函館ワインもかなり集めてるみたいだ。道南全域で。栽培農家と契約して。

○委員(三澤公雄君) サーモンじゃないけど、ブドウ作れば売り先はあるんだよね。

(何か言う声あり)

○委員(関口正博君) 奥尻は商売になってるの。

○議長(千葉) 奥尻は経営母体が建設会社で、結構売るのに困ってるみたいだ。でも売れなくても年代物が残ってるから。

(何か言う声あり)

○委員長(安藤辰行君) とりあえず富良野から降りてくる。

○副委員長(牧野 仁君) 富良野、岩見沢、余市、3ヶ所ぐらい見れる。

(何か言う声あり)

○委員(大久保健一君) まずは八雲のブドウ畑を見た方が。

○委員長(安藤辰行君) 今見ても何もないんじゃないの。

○委員（三澤公雄君） 今来たご夫婦が、かなり精力的にやってる。一度、作業に同行しようかなと思っているけど。まだちょっと、挨拶してないので。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） この日程で視察決めて、それまでの間に地元もよく見ておきましょうということ。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） では、ワインということで。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） ワイナリーが、協力隊が関わってたり、その周辺で協力隊が面白い活動をしているものがあれば、そういうのも調べてみて。

○委員長（安藤辰行君） 富良野でいいですか。

○委員（大久保健一君） 富良野行って、帰りに余市に寄るとか。

（何か言う声あり）

○委員（宮本雅晴君） あとは事務局に頼んだ方がいいのでは。

（何か言う声あり）

○委員（三澤公雄君） ワインを中心において、富良野方面ということで。今日のところはその辺でいいですか。

○事務局次長（成田真介君） 一応、ワイナリーということで、視察先や行程などについては、事務局と委員長で進めるようなかたちでよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○委員長（安藤辰行君） ではそういうことで視察の件はこれで終わります。その他。

○事務局次長（成田真介君） 次回の定例の常任委員会は5月11日木曜日、午前10時を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（安藤辰行君） 他にありませんか。ではこれで終わりたいと思います。

[閉会 午後10時44分]